

第1学年 道徳学習指導案

1 主題名

「自分を高める」 内容項目 1－（5）

2 資料名

「ちびた鉛筆の教え」 出典『私たちの新しい生き方1』新潟県中学校長会編

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

何かの壁にぶつかり、自分自身の欠点や無力さに気付く時、あきらめなくなったり悩んだりすることは多いだろう。しかし自分の個性を見付け、絶えず自己を向上させようとする前向きな姿勢と、努力しようという気持ちをもてれば、その欠点は補われ、自分のよさを伸ばしながら、充実した人生を送ることができる。どんな時も向上心を持ち、自分の可能性を追求しようという態度が大切となる。

この授業では、資料に登場する人物が、挫折をしてやる気を失った時どうすればよいか、他者と意見交換することを通して、努力することの大切さを実感させたい。

(2) 生徒の実態について

男女とも落ち着きがあり、周りのことを考え、協力し合い助け合って生活している。

規範意識が高く、時間や決まりを守って、落ち着いた学校生活を送っている。誰もが自分の仕事に対して責任を果たそうと努力している。学習意欲は高く、私語もなく、授業への取り組みが大変良い。ほとんどの生徒が、授業中姿勢よく受けている。

HUMANの結果を見ると、1年生はどの項目も全国と比べて全て望ましい傾向にある。劣っている項目はない。ただその中で「向上心」と「節度」に関わる解答に少し落ち込みが見られる。

この授業を通し、自分と異なる意見に触れることで、考えを深め、今後大きな挫折を経験したとき、たくましく乗り切っていくための判断力行動力を養いたい。

(3) 資料について

神津カンナさんは、アメリカに留学したことで、もの書きになるという夢をもつようになった。しかしその夢を実現しようと、何度も原稿を書いては失敗を繰り返していた。やがて筆者は、自分の才能に行き詰まりを感じ、自信を失いかける。作曲家の父親は、ちびた鉛筆がぎっしり詰まった箱を出してきて、才能がなくても、自らの努力によって才能を作り出すことができると教えた。

年齢的にもまだ自分の個性や適性を見付けられない中学生に対して、粘り強く取り組み続けることの大切さを教えるこの資料は、向上心について学ぶのに大変適した資料である。

4 本時の計画

(1) 本時のねらい

目標に向かう時、自分のよさを見つめ、自分を高めようと努力する。

(2) 本時における「学び合い」についての考え方

人は目標を立て困難にぶつかった時どうすればいいか意見を交換する。自分と異なる意見に触れることにより考えが深まったり、意見が変容したりする過程を経て、自分を高めるためにはどんな判断

が望ましいのか考えさせたい。

5 本時の展開

	学習活動	働きかけと生徒の反応	指導上の留意 ◇評価
導入	1 定期テスト、体育祭、合唱コンクールなどをふり返り、うまくいったこといかなかったことを確認する。	T 「4月から今日までの中学校生活でいろいろな目標を立てましたが、達成できたことできなかったことを考えましょう。」	○数名に発表させ、共感し合う。 ○教師の体験談も織り交ぜて。
学習課題 弱みを克服し、自分を高めるためには何が大切だろうか。			
展開	2 資料を読んで状況を把握する。 (「～後悔した。」まで) (1) 共感度スケールを使って、筆者の挫折を自分のものとして考える。 (2) どうしてその共感度なのか理由を説明する。 (3) 資料の続きから最後までを読み、カンナがどちらの道を選んだかを確認する。	T 「自分の才能に絶望したカンナさんにどれくらい共感できますか。ワークシートの共感度スケールに記入しましょう。どうしてそこなのか理由も書きましょう。」 S ワークシートに記入する。 T 「ホワイトボードのスケールに、列ごとに順番に貼りにきてください。」 T 「どうしてその共感度なのかですか」 S 「カンナさんは弱すぎる」 S 「絶望の気持ちはわかるけど、あきらめがちょっと早すぎる」 S 「才能のある人とない人はいるかも」 T 「資料の後半を読みましょう。」 S カンナはあきらめなかったことを確認する。	○うまくいかなかった自分の体験談と重ねて共感させる。 ◇自分の体験を思い出しながら興味関心をもつ。 ○大きな共感度スケールに名前プレートを貼って、互いの共感度を可視化させる。 ◇互いの意見から、考えを深め学んでいる。 ○あまり時間をかけず手短かに発表させる。
中心発問 カンナさんは父の見せたちびた鉛筆から何を学んだのだろうか。			
		T ワークシートに自分の意見を書きましょう。」 T 「班で意見を出し合い、ホワイトボードにまとめましょう。」 T 「班ごとに発表してください」	○できた班からホワイトボードを前の黒板に貼りに行かせる。 ◇班活動を活発に行い、互い

		<p>い。」</p> <p>S 「才能は努力で作ることができると知ったから。」</p> <p>S 「父の言葉で勇気をもらったから」</p> <p>S 「結果ではなく努力することが大事だから」</p>	<p>に考えを深めている。</p> <p>◇「ちびた鉛筆」が何を表しているか理解できる。</p>
終末	<p>3まとめ</p> <p>(1) 努力をして自分を高めていくことの大切さを学ぶ。</p>	<p>T まとめを板書する。</p>	<p>○生徒から出た意見のキーワードをつかみながらまとめる。</p>
	<p>まとめ 自分の弱みを克服し、自分を高めるためには、簡単にあきらめずに、継続的に努力することが大切である。</p>		
	<p>(2) 授業の感想を書く。</p>	<p>T 「今日の授業をふり返って、未来への自分に手紙を書いてみましょう。」</p> <p>S 授業の感想を書く。</p> <p>T 「何人かに発表してもらいましょう」</p> <p>S 「おい、自分、目標に向かって努力することに価値があるんだから、最後まであきらめるなよ」</p> <p>S 「努力し続ければ、才能をつくることができるかもしれないから、頑張れ！」</p> <p>S 「未来の自分よ、努力が自分を伸ばしてくれることをわすれないでね」</p>	<p>○授業初めに提示した学習課題と照らし合わせて、努力の大切さを最後確認する。</p> <p>◇自分を客観的に見て授業の学びを生かした文章を書くことができる。</p>

6 本時の評価

共感度スケールの使用や学び合い活動を通して、困難に直面したときも、自分自身の課題に向き合い、目標に向かって努力を継続することが大切であると分かる。

ちびた鉛筆の教え

年 組 氏名 _____

学習課題

- 1 あなたはカナさんの「私には才能がないからあきらめる」という気持ちにどれくらい共感できますか。共感度スケールで表しましょう。

よくわかる まあまあわかる あまりわからない 全くわからない

--	--	--	--

どうしてその共感度なのか、理由も書きましょう。

- 2 カナさんは父の見せたちびた鉛筆から何を学んだと思いますか。

自分の意見

班でまとめた意見

- 3 まとめ

- 4 今日の授業をふり返って、壁にぶつかって悩んでいる未来の自分に手紙を書きましょう。
